

東京都説明資料

● ロケ支援窓口「東京ロケーションボックス」の運営①

✓専従スタッフ数を3名から6名に拡充

- ロケ撮影の支援(相談・調整・立会等)
- フィルムコミッション等の設立及び運営に関する助言
- 公式ホームページ(リニューアル)、広報紙、動画による情報発信
- 支援作品を活用した地域のPR

撮影風景や美術小道具の展示

映画監督等のトークショー

都内地域および関東近県のロケ撮影支援窓口の紹介



ロケ撮影の支援



公式動画チャンネル



支援作品を活用したイベント

● ロケ支援窓口「東京ロケーションボックス」の運営②

- 海外映画見本市への出展(新規)

世界有数の海外映画見本市に出展し、ロケ地・東京の魅力をPR

(出展先)カンヌ国際映画祭併設見本市「マルシェ・ドゥ・フィルム」

国際映画見本市「アメリカン・フィルム・マーケット」

香港国際映画祭併設見本市「香港フィルマート」

※ 東京国際映画祭併設マーケット「TIFFCOM」にも出展



● 東京FC「東京ロケーションボックス」アンバサダーの設置(新規)

- 国内外の映画業界において実績が豊富な映画プロデューサーなど5名をアンバサダーとして任命
- アンバサダーの発信力を活用し、映像制作者に対してロケ地としての東京の魅力を広くPR

- 地域のフィルムコミッション担当者などを対象とした講習会の実施(年2回)
 - ロケ受入のノウハウや注意点等に関する講義
 - 海外映画の誘致やフィルムコミッションを通じた地域PRなどをテーマとした、アンバサダーによる講演



※都内でのロケ撮影環境改善のために必要なこと

- ロケ撮影許可基準の緩和、明確化
- ロケ撮影受入に寛容な風土の醸成
- 制作者の撮影ルール遵守徹底

「東京ロケーションボックス」支援実績例

作品名	支援したロケ地	撮影内容	撮影規模
いぬやしき (2018年4月公開)	東京都庁	展望室及び都民広場での撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者10名 ・スタッフ約60名 ・エキストラ 最大400名程度
	都営大江戸線 六本木駅	終電後の駅ホームでの撮影	
	歌舞伎町 シネシティ広場付近 (道路封鎖)	多数のエキストラを動員した大規模ロケ	
	西武新宿 Pepe前広場		
検察側の罪人 (2018年8月公開)	都立日比谷公園	来園者やイベント開催が多い公園内での撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者3名 ・スタッフ約60名
翔んで埼玉 (2019年2月公開)	都庁通り (道路封鎖)	多数の劇用車両やエキストラを動員した大規模ロケ	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者10名 ・スタッフ約60名 ・エキストラ のべ1000人程度